

## 林道事業再評価調書

事業名	林道開設事業（森林基幹道）	路線名	いくみやえじせん 生実八重地線
事業主体	徳島県	関係市町村	上勝町
事業概要	<b>【目的】</b> ・本路線は、勝浦郡上勝町大字生実字柵瀬の町道剣山線を起点とし、山犬嶽から高丸山に続く稜線を通過して上勝町大字旭字道辻の町道高丸山線に至る森林基幹道である。 ・周辺の県道、町道、林道に連絡しており、豊富な森林資源に対する合理的な森林経営のための基盤として位置づけられ、森林整備の推進により森林の持つ公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。また、大規模災害時の連絡道路として利用する。		
	<b>【内容】</b> 利用区域面積                      1,290ha                      [人工林面積:1,062ha (82%) ] 受益戸数(森林所有者数)        361戸 幅員                                      4.0m 計画延長                                17,700m                      (うち平成25年度末の供用予定延長 12,239m) 総事業費                                4,230,300千円                (うち平成25年度末の実施予定事業費 3,335,837千円) 事業予定期間                         昭和62年度～平成38年度        (40年間)		
評価	<b>【事業の進捗状況】</b> 昭和63年度より工事着工し、平成25年度までに12,239mの開設・供用を予定しており、進捗率は69.1%となっている。 <div style="text-align: right;">[進捗率:69.1%]</div>		
	<b>【関連事業の整備状況】</b> 供用開始区間においては次世代林業プロジェクトの推進に資するため、平成21年度から平成24年度までに延べ95haの森林整備を実施している。		
評価項目	<b>【社会経済情勢の変化】</b> ・円高の下での輸入木材製品の増加や経済情勢の悪化による木材需要量の低下など、林業を取り巻く環境は依然として厳しい。こうした情勢の下、山村地域の主要産業である林業の持続的かつ健全な発展が望まれ、また、異常気象による土砂災害の防止や二酸化炭素の固定など地球温暖化の抑制に役立つ森林の多面的機能の維持が求められている。 ・本県の森林資源は、この半世紀で、3倍に増加している。特に、スギの人工林は50年生以上が半数以上を占め、成熟期を迎えている。 ・こうした中、県は、平成23年度から、県産材の生産量と消費量の倍増を目標にした「次世代林業プロジェクト」を推進しており、木材生産量の増加、林業従事者の増加など成果を上げている。 ・木材生産部門においては、従来の架線系木材搬出システムに比べ、2倍以上の生産性を有する「高密度路網と高性能林業機械を組み合わせた新システム」の整備、普及を進めており、高密度路網の中核となる林道の整備を急ぐ必要がある。 このような背景の中、当町内林業事業者は高性能林業機械を使用し、積極的に森林施業に取り組んでいる。		
	<b>【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】</b> 無し		
目	<b>【事業効果の発現状況】</b> ・供用を開始した区間において平成24年度までに間伐をはじめとして延べ962haの森林整備を実施している。今後も「次世代林業プロジェクト」を推進し、森林施業を継続して実施していく計画である。 <div style="text-align: center;">[費用対効果]                      2.07                      (国の採択基準は1.0以上)</div>		
	<b>【受益者・関係機関の意向】</b> ・関係町村をはじめ地元(期成同盟会)の活動も活発で、事業の早期完成を強く望まれている。 ・緊急時の避難路及び迂回路の機能も持ち合わせることから注目されている。		
<b>【事業の実施方針】</b> 継続して事業を実施する。			